

「行基論―大乗仏教自覚史の試み―」要旨

博士（文学）

角田洋子

行基の仏教的大事業を實現させた力として初期からの弟子集団の形成を重視し、その実態を解明すること、また行基と弟子集団を結束させたものとしてその思想的背景を捉える必要があるという観点から、行基弟子集団を結束させ実践に立ち向かわせた思想を再検討し、日本古代仏教史の展開過程にその思想と運動を位置づけることを本論文の目標とした。

第一章では本論考の課題である弟子集団の解明と、行基の仏教活動の背景にある思想に焦点を絞って研究史を整理した。行基の弟子集団がいつごろ形成されたかの研究史を整理した。行基の弟子集団がいつごろ形成されたかの研究史を整理した。行基の弟子集団がいつごろ形成されたかの研究史を整理した。

非も検討課題とした。

第二章では行基集団の仏教活動の思想的基盤が『続日本紀』行基伝に記されている「瑜伽唯識論」にあったことを改めて検証した。行基は道昭の伝えた「禅」と橋・堤・津等の社会的施設を各地に作りながら人々を教化するといふ二つの実践を継承した。この二者は菩薩行の実践として不可分のものである。玄奘が道昭に伝えたのは『瑜伽師地論』その中でもとりわけ大乘菩薩の実践を重視した。「菩薩地」であったことを、玄奘の印度求法の目的、訳経事業の中で『瑜伽論』がもった特別な位置、道昭の一族船氏が天平期にも菩薩地十卷の読誦を継承していることを語る優婆塞貢進解の存在等から考察した。玄奘が禅（瑜伽）の東伝を重視したのも『瑜伽論』の促すところであった。行基集団と関連深いとされている和泉監知識経に『瑜伽師地論』卷二十六が選ばれていることも経論の内的理解の現れとして論じた。

第三章では行基集団の仏教活動の基盤となった「道場」が日本古代仏教史のなかで何時、どのような形で登場してくるかを検証し、畿内四十九院の外に「諸道亦往々而在」とする『続日本紀』の記録の妥当性を検討した。「道場」の確かな初見は『大宝僧尼令』であること、「道場」での修行の中心は「禅行」であり、これを伝え弘めるた道昭の禅院が「道場」の嚆矢と見なされること、行基集団の建立

した精舎が「道場」とよばれたのもこの系譜を引くこと、『靈異記』下巻に登場する紀伊国那賀郡弥気山室堂が行基の「道場」であった可能性が高いことを考察した。

第四章では行基の弟子集団が初期から官僧を中心に組織・形成され、彼等が活動の母胎となったであろうことを養老元年の行基と弟子集団を糾弾した詔、及び養老期の仏教政策から考察した。行基と大乘教義をともした官僧またはそのレベルの僧尼の存在を抜きにして四十九院の運営、優婆塞・優婆夷の養成、彼等の「如法得度」、民衆への布教活動は考えがたい。官僧の存在を証する史料である「大僧正記」については「補論」でとりあげた。

第五章では天平十五年正月から四十九日間の長期に渡って諸国で行われた大法会を分析し、国家が主催した初の大乗法会であったことを明らかにした。法会開催の主旨を述べた天皇の詞に初めて「大乘金光明経」という把握がみられる。中央の金光明寺での転読に招請された四十九人の大徳には菩提や道璿・仏哲の参加や華厳学生審祥、ひいては行基の参加の可能性をもここに至る状況の中で推測した。この状況は、国家仏教の側からは菩薩思想を強調する大乘經典としての『華嚴経』の理解が深まったこと、行基集団を初めとする民間に弘まった菩薩僧等の布教活動への国家の一定の理解と容認によってもたらされたと考察した。

補論では「大僧正記」の史料性を検討し、行基の「弟子」には師位・半位をもつ学識德行兼備の官僧群が存在し、組織性をもった指導体制があつたことを示す史料であることを考察した。

玄奘が国禁を破って単身印度に趣き、学ぼうとした仏典は大乗菩薩行の実践を集約した当時最新の『瑜伽師地論』であつた。玄奘の到達したこの最終目標への理解抜きにして、道昭が玄奘に学んだもの、禅院建立の意味、天下周遊と社会的施設の建設の意味を一体のものとして理解することは難しい。道昭は自覚的に大乘經典の真髓である菩薩思想とその実践の重要さを玄奘から学び、自覚的に弘めた最初の人である。行基とその弟子集団はその菩薩思想をよく学び実践の重要さを自覚した集団であつたから、その点で結束し、国法を犯すことあえて辞さず、糺弾の詔や実刑を以つての弾圧にも屈せず教化を持続拡大することをができたと考えられる。行基集団の活動を理解するためにはこの大乘仏典の説く思想を内面化して受け止めた僧尼の古代社会の実態に即しながら、柔軟に布教活動を行い、そうした僧尼のあり方も弘めたり所になら、柔軟に布教活動を行って受け止めた僧尼のあり方も弘めたりゆき過程に、經典に内在する大乘思想への国家側の理解と包摂があつたことを併せて考察した。

と 本論考は右のような思想的系譜をなるべく史料によって検証すること
に 努めた。